



エコアクション21

環境経営レポート

運用期間 2018年8月1日～2018年10月31日

2018年11月1日



PLCパートナーズ株式会社

目次

- 1.組織の概要
 - (1)事業所名及び代表者名
 - (2)所在地
 - (3)事業の概要
 - (4)事業の規模
 - (5)環境管理責任者氏名及び担当連絡先
- 2.対象範囲
 - (1)組織図
 - (2)役割・責任・権限
- 3.環境経営方針
- 4.経営における課題とチャンスの取りまとめ
- 5.環境経営に関わる現状について
- 6.環境経営目標(トライアル期間)
- 7.環境経営活動計画
- 8.環境経営目標の実績
- 9.環境経営活動計画の取組結果とその評価
- 10.次年度の取組内容
- 11.環境経営関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反訴訟等の有無
- 12.代表者による全体の評価

1.組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名
PLCパートナーズ株式会社
代表取締役 人見 正徳

(2)所在地
東京都品川区西五反田8-1-5

(3)事業の概要
◇業務コンサルティング
◇BPM(ビジネスプロセスマネージメント)開発
◇BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)/ITO/クラウドサービス

(4)事業の規模

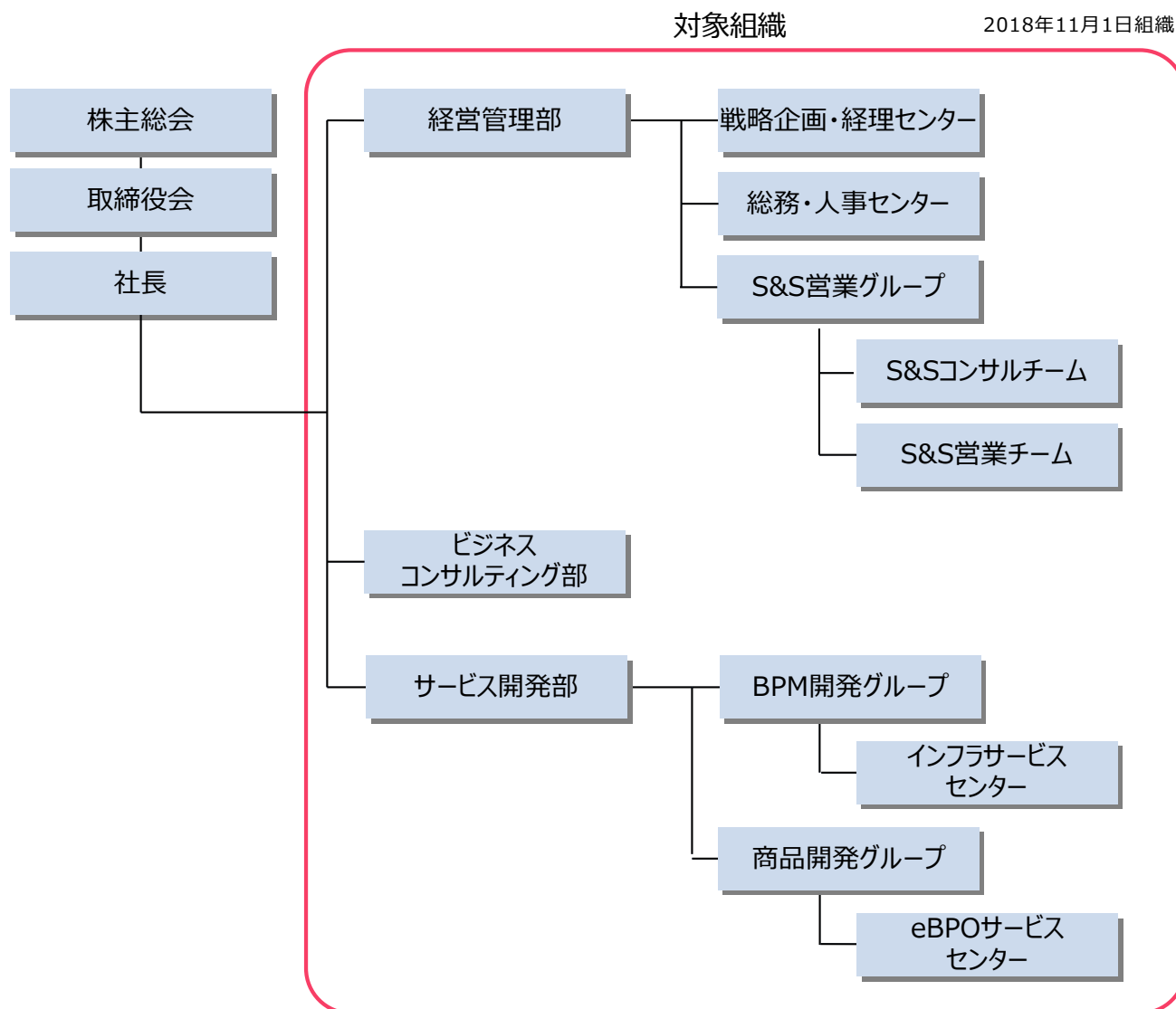
	2015年度	2016年度	2017年度
売上	100.0%	150.6%	185.6%
延べ床面積	160.45㎡	160.45㎡	160.45㎡

※売上は、2015年度を100%として進捗率を記載

(5)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
◇環境管理責任者：代表取締役 人見 正徳
◇担当者：ソリューション&サービス営業グループ(略称 S&SG) 戸田 騰
◇連絡先：電話 03-6431-2520
FAX 03-6431-9783
E-mail toda@plc-partners.com

2.対象範囲

(1)組織図



環境委員会

委員長 : 経営管理部長
委員 : 各部長
EA21事務局 : 経営管理部 S&S営業G長

(2)役割・責任・権限

対象	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・代表者として環境経営全般に関し責任と権限をもつ ・環境方針を策定し、従業員(協力会社社員)に周知する ・EMSの実施及び管理に必要な資源(人・物・金)の投資承認 ・EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する ・環境管理責任者を任命する
環境管理責任者 (経営管理部長)	・EA21の要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境面の実績を向上させる ・上記の結果を代表者に報告する ・EA21文書類(環境方針を除く)の承認を行う ・EMS全般のかじ取りを行う
環境委員会 (各部長及びセンター長・グループ長)	・EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ・環境への負荷の自己チェックを評価する ・環境への取組の自己チェックを評価する ・環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
EA21事務局 (S&S営業グループ長)	・環境への負荷及び取り組みの自己チェックの取りまとめ ・全従業員に対し環境活動の教育・訓練を実施する ・緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・環境目標・環境改善項目の取りまとめ ・環境関連法規制の遵守状況の確認及び情報収集 ・環境活動計画書件進捗管理表による状況報告及評価 ・社内外の環境情報の収集と伝達を実施する ・環境活動レポートの作成及び外部コミュニケーションへの記録
全従業員 (含む協力会社員)	・環境方針、環境目標、環境活動計画を理解し実践する ・環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ・法規制を理解し遵守する ・社内外の環境情報の収集と伝達を実施する

3.環境経営方針

(1)経営方針

世界レベルで企業を取り巻く環境が急速に、かつ大きく変動する中、PLCパートナーズは、目指す姿である「常にお客様の業務プロセス改革活動のパートナーになる」活動を通じて、時代の潮流や本質的課題を素早く捉え、市場・お客様の業務改革の実現を支援し共に推進していくことで、さらなる企業価値向上を目指します
また、主要サービスの業務改革支援活動を通じ、ビジネスプロセスの短縮化、ミスロットの削減、品質の向上による、市場や顧客の環境経営促進に寄与します

(2)環境経営方針基本理念

PLCパートナーズ株式会社は、地球保全を最重要課題とする社会の一員として企業活動を通じ、全員参加で地球環境の保全に積極的に努め社会に貢献します

(3)環境経営基本方針

PLCパートナーズ株式会社は基本理念に沿い、提供サービスに関する事業活動を行う上で、以下の環境経営活動を継続的に実施致します

1. 企業活動において環境負荷の自己チェックを行い、重要項目に関しては技術的、経済的に可能な限り環境目標を設定し、PDCAサイクルにより継続的な改善活動を行います
2. 法規制、条例等及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます
3. 環境への負荷を最小限にし、循環を基とする企業活動を目指します
 - a) 二酸化炭素の排出量の削減に努めます
 - b) 廃棄物の削減及び3R活動の推進に努めます
 - c) 環境に配慮した設備・機器、消耗品・事務用品を中心としたグリーン購入を推進します
 - d) 節水に努め、水資源使用量の削減を図ります
4. 全従業員への環境方針の周知徹底を図ります
5. 環境経営方針は、広く社外にも公表します

制定日 2018年7月1日
PLCパートナーズ株式会社
代表取締役 人見 正徳

4.経営における課題とチャンスの取りまとめ

(1)SWOT分析

◇強み ・製造業に特化した業務コンサル ・設計・製造・建設部門のBPO実績 ・BPM/RPA領域での認知度 ・IT業界の人脈	◇機会 ・CSR活動の高まり ・環境経営に関する関心度 ・働き方改革法案 ・クラウドビジネスの拡大 ・スマートフォンの普及
◇弱み ・創業歴史が浅い ・企業認知度や知名度が低い ・コアビジネス以外での企業活動 ・人手不足	◇脅威 ・米国の保護貿易政策 ・上記による製造業の業績悪化 ・IT技術革新 ・少子高齢化

(2)事業と環境との関わり

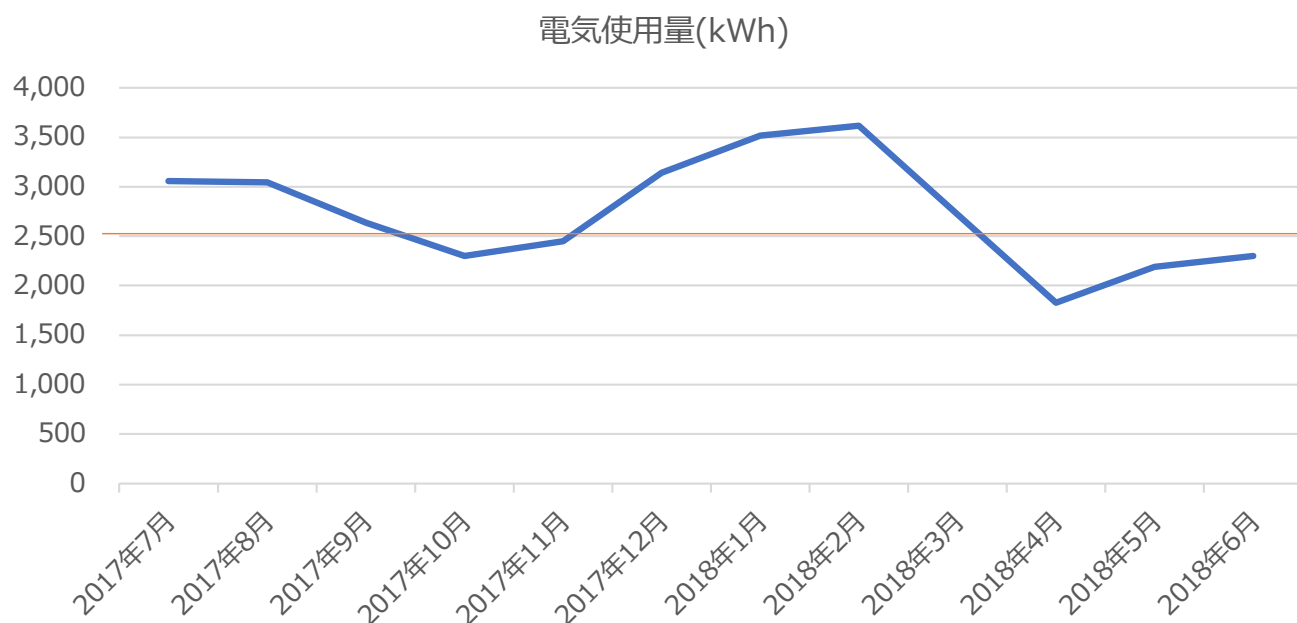
- a)お客様の業務プロセスを可視化し、業務プロセスの改革をクラウドサービスにて提供する事により、設計・製造工程の短縮化による使用電力削減や、製造ミスの削減による省資源化へ貢献が可能となります
- b)社会的責任より環境活動への取組を強化している企業が多い中、自社の環境への取組状況を把握できていない企業が多いのも事実です
弊社は環境への取組状況を可視化し、定量的な効果をレポートする仕組みや、同業会他社や異業種での取り組みの違いをクラウドサービスにて提供します
- c)お客様への提案書やコンサルティング成果物ドキュメントを環境に配慮した物（出力・グリーン調達）にて行います

(3)環境経営目標・活動内容

省資源化・省エネ活動・事業活動を通じての環境貢献の推進(具体的内容は後記)

5.環境経営に関わる現状について

(1)電気使用実績

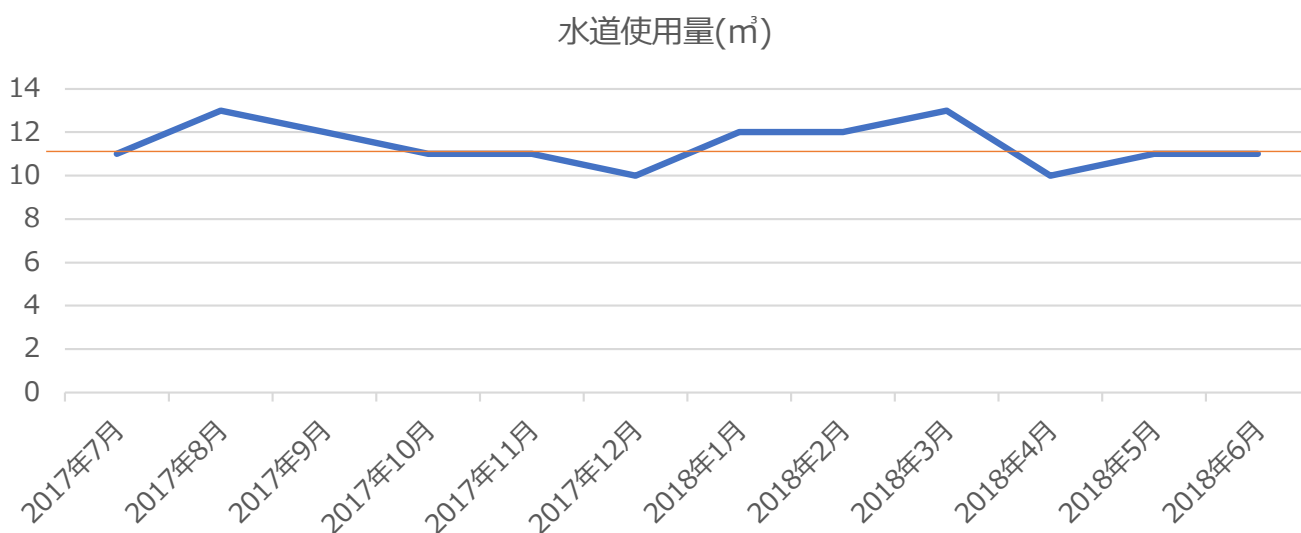


月平均2,733.8kWh

オフィスにおける照明・空調・OA機器での電気使用が中心

オフィス稼働時間が長いのが特徴(7:30~22:00)、改善の余地がある

(2)水の使用実績

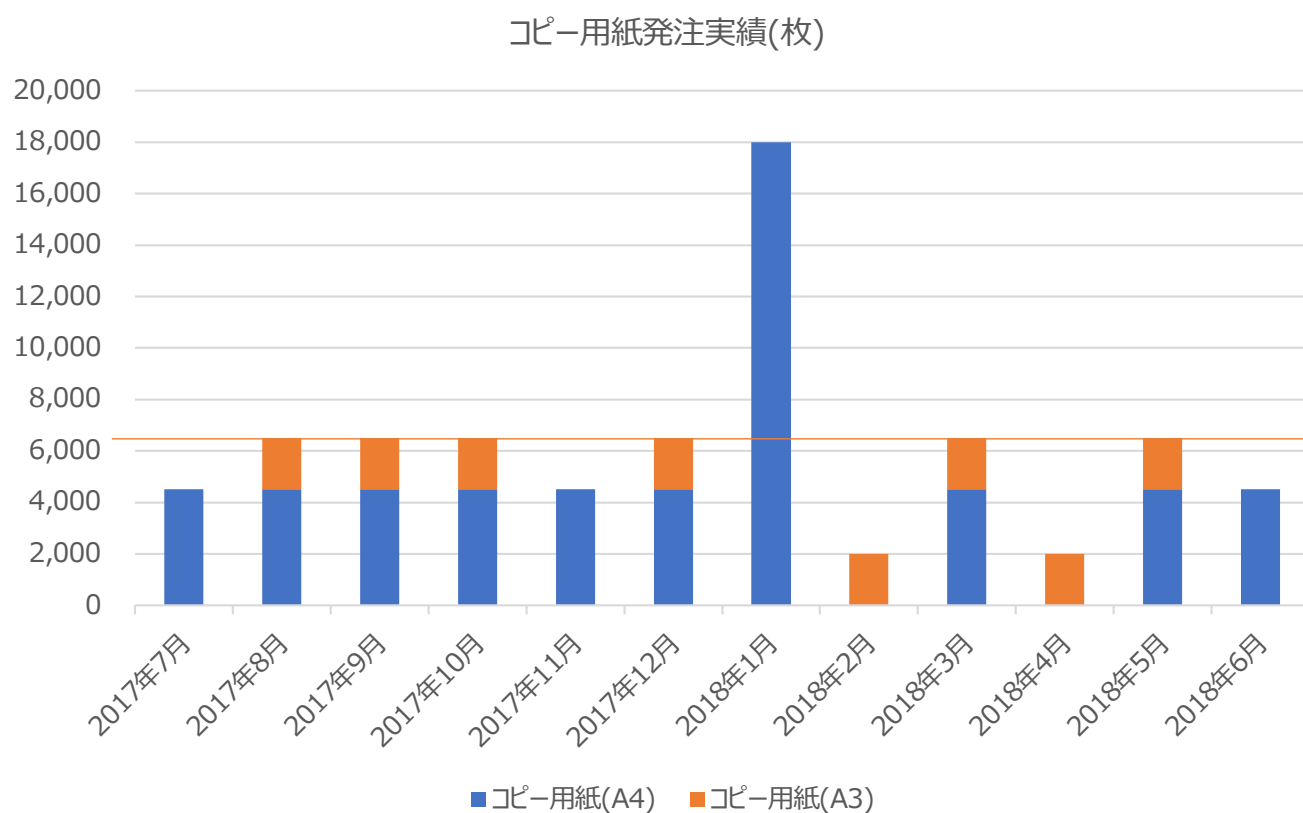


月平均11.4m³

お手洗いでの水使用が中心

給湯室に流しがあるが、お茶を入れる習慣が無いためほとんど使用していない

(3)コピー用紙発注実績



月平均A4 4,875枚、A3 1,333枚、合計 6,208枚

100%純正パルプ用紙(マルチペーパー セレクト スムース)を使用しており

グリーン調達への切り替え検討が必要

プリント出力が中心でコピーでの使用は少ない

また、ミスコピー・出力物はシュレッダーにて処理をしており、再利用・再資源化の課題がある

6.環境経営目標

(1)トライアル期間、中期計画

環境経営方針を踏まえ、以下の5項目について環境経営目標を設定した
尚、トライアル期間の削減目標は2017年度をベースに1%の削減で設定した
また中期計画目標値は、トライアル期間の実績値の1%削減で設定した

環境経営目標項目		単位	2017年7月～ 2018年6月	2018年8月～ 10月	2019年度 (11月～10月)	2020年度 (11月～10月)
			基準値(月平均値)	目標値(月平均値)	目標値(月平均値)	目標値(月平均値)
1	二酸化炭素排出 量の削減	kg-CO2/月	1,295.8	1,282.8	1,197.9	1,185.9
	電力消費量の 削減	kWh/月	2,733.8	2,706.5	2,527.1	2,501.9
2	水使用量	m ³	11.4	11.3	13.1	13.0
3	コピー用紙の削減	枚	6,208	6,146	2,639	2,612
4	グリーン購買の 推進		実績なし	調達品の選定と 発注	事務用品の適用 検討	事務用品の適用 検討
5	リサイクルの推進		実績なし	ビル管理会社と 相談	ルール決めと運用の 開始	適用ルールの遵守

※二酸化炭素排出量の数値は、平成28年度 東京電力エナジーパートナー(株)
調整後排出係数 0.474kg-CO2/kWhを使用

7.環境経営活動計画

改善取組事項		具体的取組内容	担当部門
1	電力消費の削減	空調管理の実施(冷房27℃ 暖房21℃)	総務C
		待機電力の削減(PC・モニター)	全社
		不要照明の消灯	全社
		照明機器のLEDへ切り替え検討	M&SC
		定時退社日の実施(第二金曜日)	M&SC
2	出力用紙の削減	両面・2UP出力の実施(プリントドライバーの設定)	M&SC
		社内打合せ資料出力の禁止	全社
		お客様配布資料の最小限化	全社
3	リサイクルの推進	機密文書以外のシュレッダー使用の禁止	全社
		ミスコピー・出力の裏紙の利用推進	総務C
		分別ごみの細分化	総務C
4	グリーン購買の推進	事務用品のグリーン調達を検討・切り替え	総務C
		出力用紙の切り替え検討・実施	総務C
5	水使用量の削減	節水に努める	全社
6	個人エコの推進	紙コップの廃止(マイカップの推進、紙ストローの導入)	全社
		マイバック(レジ袋の廃止)、マイ箸の推進	全社

8.環境経営目標の実績

(1)活動内容一覧

改善取組事項		具体的取組内容	取組の実施事項	運用開始日
1 電力消費の削減		空調管理の実施(冷房27℃ 暖房21℃)	エアコンの温度設定 27℃	2018年8月1日
		待機電力の削減(PC・モニター)	スイッチ付きテーブルタップの導入	2018年8月10日
		不要照明の消灯	会議室、給湯室、トイレの消灯徹底	2018年8月1日
		照明機器のLEDへ切り替えの検討	未実施(ビルの仕様と適合せず断念)	
		定時退社日の実施(第二金曜日)	8月10日、9月14日、10月12日実施	2018年8月1日
2 出力用紙の削減		両面・2UP出力の実施(プリントドライバーの設定)	プリントドライバーの設定	2018年8月23日
		社内打合せ資料出力の禁止	左記の実施	2018年8月1日
		お客様配布資料の最小限化	左記の実施	2018年8月1日
3 リサイクルの推進		機密文書以外のシュレッダー使用の禁止	左記の実施	2018年8月1日
		ミスコピー・出力の裏紙の利用推進	裏紙活用箱の設置	2018年8月1日
		分別ごみの細分化	未実施(ビル管理会社対応不可の為)	
4 グリーン購買の推進		事務用品のグリーン調達への検討・切り替え	対象品の検討開始	2018年8月1日
		出力用紙の切り替え検討・実施	コピー用紙の切り替え(XEROX FR紙)	2018年8月22日
5 水使用量の削減		節水に努める	左記の実施	2018年8月1日
6 個人エコの推進		紙コップの廃止(マイカップの推進、紙ストローの導入)	マイカップの推進	2018年8月1日
		マイバック(レジ袋の廃止)、マイ箸の推進	左記の実施	2018年8月1日

(2)活動内容の詳細

- a)空調温度の管理(2018年8月1日より運用開始)
冷房温度 27度C



- b)スイッチ付きテーブルタップの採用(2018年8月10日より運用開始)
待機電力のカット



- c)不要照明の消灯(2018年8月1日より運用開始)
会議室の消灯、給湯室・トイレの消灯の徹底

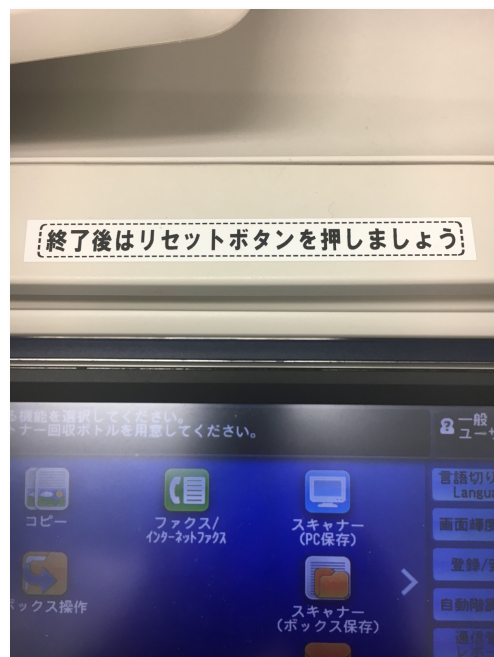


- d)定時退社日の実施(第二金曜日)
8月10日、9月14日、10月12日 実施

- e)LED照明への切り替え(エントランス、会議室を対象)
ビル管理会社へ見積もり依頼、含めた費用が1,018,000円で断念
独自にLED蛍光を購入するもパナソニックのソケット仕様と適合せず点灯しないため
断念



- f) ミスコピーの防止(2018年8月1日より運用開始)
コピー終了時に設定リセットを徹底



- g) 従業員への周知徹底と環境経営取組教育
全社会議で環境経営方針の説明を実施、実施項目への取組を朝礼で説明



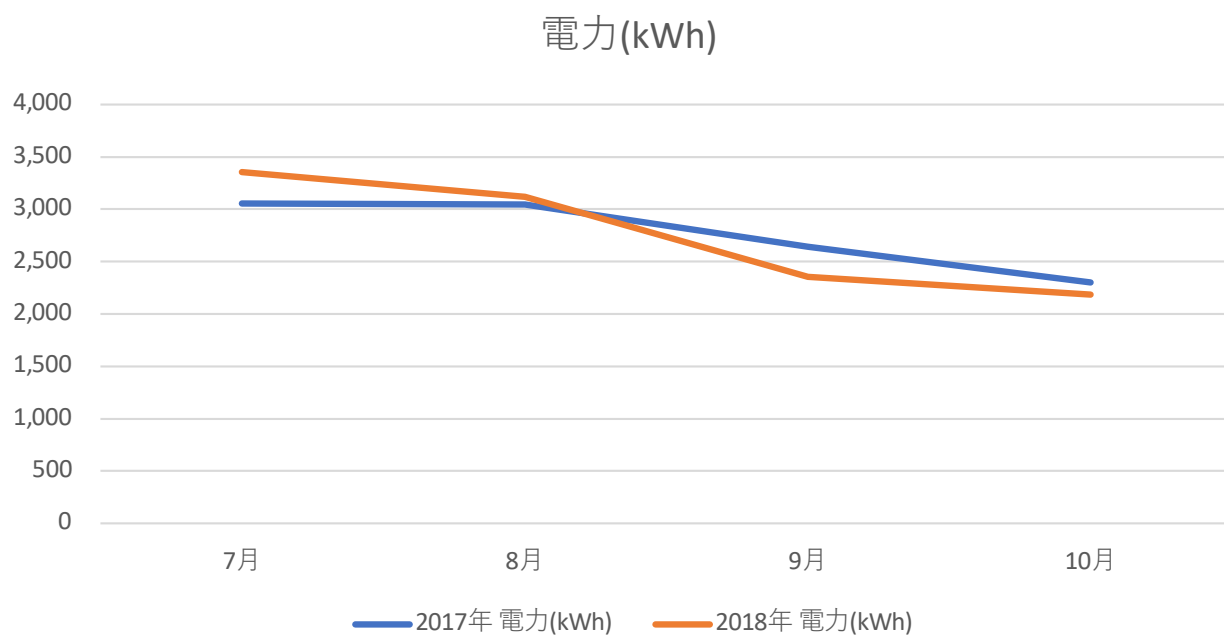
- h)グリーン調達の開始(2018年8月22日より運用開始)
コピー用紙をXEROX FR紙(古紙含有率 50%)へ変更



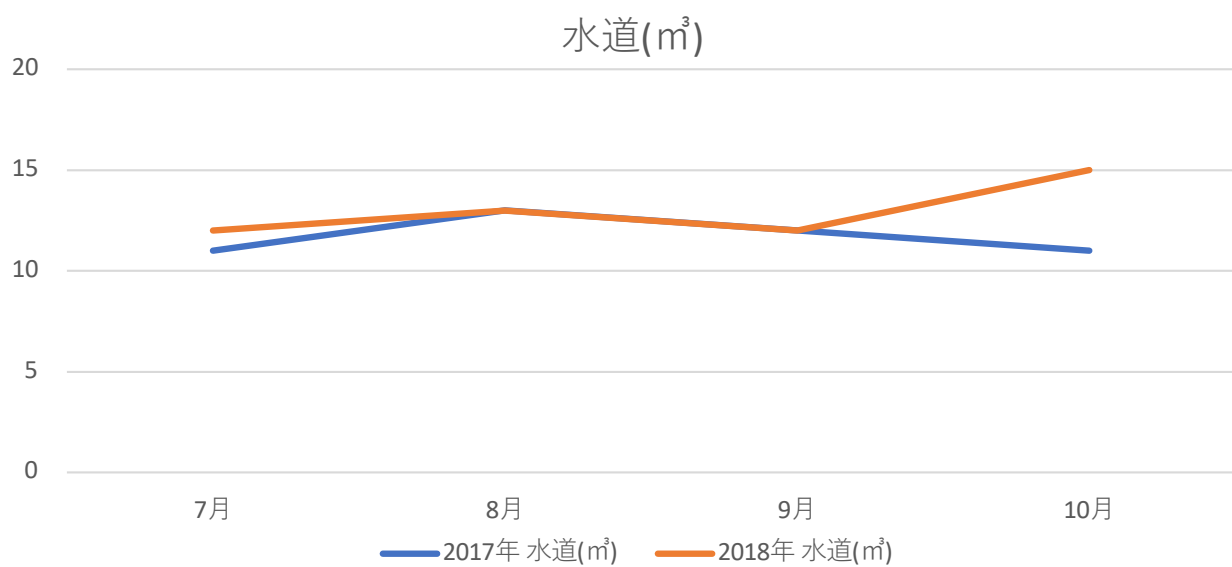
- i)プリントドライバーの設定(2018年8月23日より運用開始)
モノクロ出力、両面・Nup出力、優先トレイに再生紙を標準設定
- j)ミスコピー、ミスプリントを捨てずに保管を開始(2018年8月1日より運用開始)



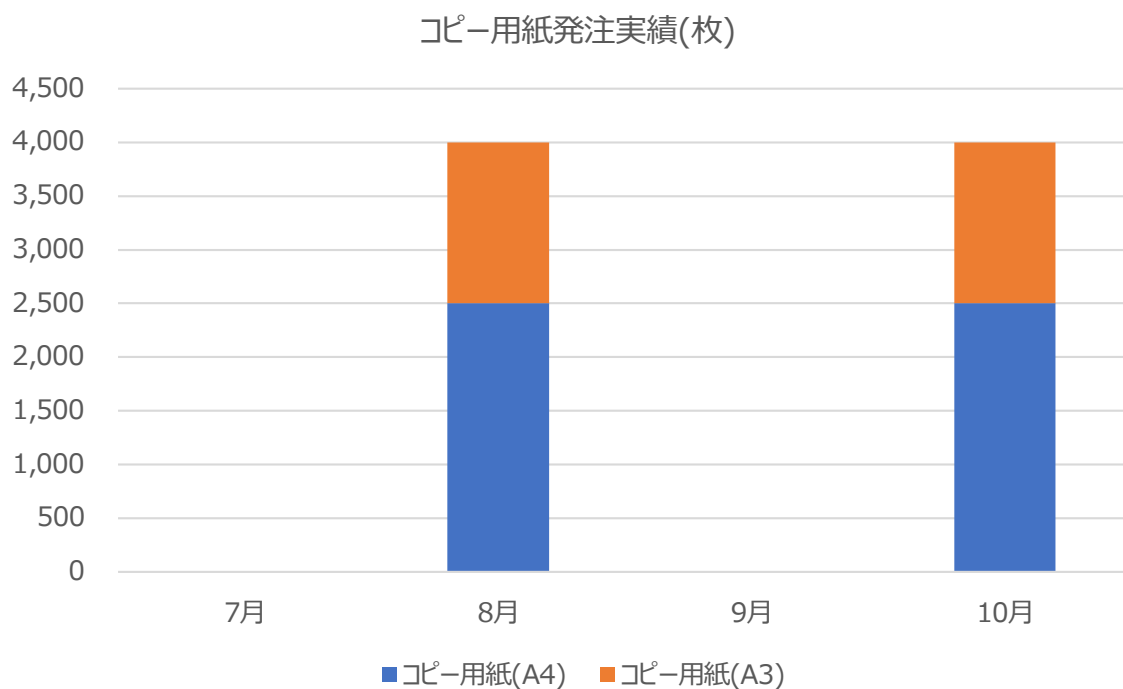
(3)活動結果
a)電気使用実績



b)水の使用実績



(c)コピー用紙発注実績



2018年8月よりグリーン調達対象用紙『XEROX FR紙』へ変更
環境経営活動の呼びかけにより、用紙使用量が激減

9.環境経営活動計画の取組結果とその評価

	改善取組事項	単位	目標値	実績	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/月	1,282.8	1,210.0	○
2	電力消費の削減	kWh/月	2,706.5	2,552.7	○
3	出力用紙の削減	枚	6,146	2,666	○
4	リサイクルの推進			裏紙の保管のみ	△
5	グリーン購買の推進			コピー用紙の切り替え	△
6	水使用量の削減	m ³	11.3	13.3	×
7	個人エコの推進 (マイカップ使用率)		70%	54.5%	△

環境経営方針を従業員に説明し、理解を促し活動を実践することにより電力消費の削減が目標値を大きく上回り、結果二酸化炭素排出量の削減に繋がった。
また、出力用紙の削減も大幅に達成する事ができた。

水道使用量は削減には至らなかった。
10月より外注のソフトウェア開発者が新たに5名増員された事が要因と考えられる。
引き続き節水に努めたい。

リサイクルの推進は、裏紙の活用方法案がなく保管のみとなっている。

グリーン購買の推進は、事務用品購入品も対象とする検討が今後必要。

個人エコの推進として、マイカップ活動を始め約半数がマイカップを使用。
残りの従業員は、ペットボトル飲料のためマイカップを使用していない。

10.次年度の取り組み内容

改善取組事項		具体的取組内容	担当部門
1	電力消費の削減	空調管理の実施(冷房27℃ 暖房21℃)	総務C
		待機電力の削減(PC・モニター)	全社
		不要照明の消灯	全社
		部分消灯の検討	M&SC
		定時退社日の実施(第二金曜日)	M&SC
		ワークスタイル変革の検討	全社
2	出力用紙の削減	両面・2UP出力の継続	全社
		社内打合せ資料出力の禁止	全社
		お客様配布資料の最小限化	全社
3	リサイクルの推進	機密文書以外のシュレッダー使用の禁止	全社
		裏紙の活用	総務C
4	グリーン購買の推進	事務用品のグリーン調達の検討・切り替え	総務C
5	水使用量の削減	節水に努める	全社
6	個人エコの推進	マイカップの推進、マイボトルの携帯	全社
		マイバック(レジ袋の廃止)、マイ箸の推進	全社

11.環境経営関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規とその遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。

また、その他関係各機関からの指導や隣接する事業所及び近隣住民の方々からの苦情や訴訟もありませんでした。

環境法規等の名称	対応概要	遵守状況
廃棄物処理法	ビル管理会社の基準で分別、回収を委託	○
容器包装リサイクル法	空きトナーボトル回収をメーカーに委託	○
リサイクル法	PC等の廃棄なし	○
家電リサイクル法	廃棄対象物なし	○
グリーン購入法	コピー用紙の切替を実施	○

12.代表者による全体の評価

2018年6月より環境経営への取り組みの一環として、EA21認証取得を目指す事とし、7月より認証取得準備、8月より認証取得トライアルと急ピッチで進めて参りました。

現在の地球環境は、危機的な状況より改善出来ていない現状を正しく理解し、会社全体としての活動を推進する必要性を従業員に説明し活動を行いました。コンサルティング会社である当社は、生産部門を持っておりませんのでオフィス内での環境活動が中心となりましたが、使用電力・コピー用紙のグリーン調達や削減は大きな効果を得る事が出来ました。引き続き環境活動を継続して参る所存です。

また2019年度に向けては、EA21認証取得の活動の経験を踏まえ、お客様の環境活動をお手伝いさせて頂く、クラウドサービスを新規事業として立ち上げる事も決定致しました。

当社のコンサルティング機能を生かし、お客様の環境経営活動にも貢献を目指します。

PLCパートナーズ株式会社
代表取締役 人見 正徳